

小規模建築物基礎設計指針改定のためのアンケート

本指針の改定に向けてアンケートを実施しております。御協力を宜しくお願い致します。
該当する項目を選択して下さい。複数選択の質問もあります。

*必須

ご回答者様について

回答者様についてご回答下さい。選択した内容により、設問内容が変わります。
実務に携わっていない方の場合は、ご意見としてご回答下さい。

1. 業務種別をお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 総合建設業
- ハウスメーカー
- 設計事務所
- 地盤調査会社
- 地盤補強会社
- 地盤調査・補強会社
- 地盤保証会社
- その他(大学・研究機関等に所属の方)

2. 主な業務内容をお選び下さい。*

1つだけマークしてください。

- 建築物や基礎・地盤に関する設計 質問 3 に進んでください。
- 地盤調査に関する業務 質問 8 に進んでください。
- 地盤改良・補強に関する業務 質問 9 に進んでください。
- 地盤調査と地盤改良・補強に関する業務 質問 10 に進んでください。
- 研究・開発職 質問 31 に進んでください。
- その他 質問 31 に進んでください。

建築物や基礎・地盤に関する設計に従事されている方

建築物や基礎・地盤に関する設計に従事されている方は、こちらにご回答をお願いします。

3. 一年間の戸建て住宅売上棟数または設計棟数は何棟くらいですか。*

1つだけマークしてください。

- 1000棟以上
 100棟以上1000棟未満
 50棟以上100棟未満
 10棟以上50棟未満
 10棟未満
 不明

4. 基礎選定の種類とその割合をお選びください。(直近1年間の実績) <全てに記入してください>*

1行につき1つだけマークしてください。

	0%	20%	40%	60%	80%	100%	不明
布基礎	<input type="radio"/>						
べた基礎(一段・二段配筋含む)	<input type="radio"/>						
杭基礎	<input type="radio"/>						
住宅着工棟数の中で地盤補強を実施した割合	<input type="radio"/>						

5. 基礎断面・配筋の検討方法はどれを参照しますか。 <複数選択可>*

1行につき1つだけマークしてください。

	参照する	参照しない	不明
性能規定(構造計算)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕様規定(告示1347号)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その際に小規模建築物基礎設計指針を参照するか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

6. 3階以下で杭基礎を採用するケースはありますか。*

1つだけマークしてください。

- ある
 ない
 不明

7. 3階以下で杭基礎を採用した理由をお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 設計者判断
 行政指導
 施主希望
 その他: _____

質問 31 に進んでください。

地盤調査に関する業務に従事されている方

地盤調査に関する業務に従事されている方は、こちらにご回答をお願いします。

8. 一年間の地盤調査実施件数は何件くらいですか。*

1つだけマークしてください。

- 1000件以上
- 100件以上1000件未満
- 50件以上100件未満
- 10件以上50件未満
- 10件未満
- 不明

質問 12 に進んでください。

地盤改良・補強に関する業務に従事されている方

地盤改良・補強に関する業務に従事されている方は、こちらにご回答をお願いします。

9. 一年間の地盤補強工事数は何件くらいですか。*

1つだけマークしてください。

- 1000件以上
- 100件以上1000件未満
- 50件以上100件未満
- 10件以上50件未満
- 10件未満
- 不明

地盤調査と地盤改良・補強に関する業務に従事されている方

地盤調査と地盤改良・補強に関する業務に従事されている方は、こちらにご回答をお願いします。

10. 一年間の地盤調査実施件数は何件くらいですか。*

1つだけマークしてください。

- 1000件以上
- 100件以上1000件未満
- 50件以上100件未満
- 10件以上50件未満
- 10件未満
- 不明

11. 一年間の地盤補強工事数は何件くらいですか。*

1つだけマークしてください。

- 1000件以上
- 100件以上1000件未満
- 50件以上100件未満
- 10件以上50件未満
- 10件未満
- 不明

質問 12 に進んでください。

地盤調査について

12. SWS試験前に行っている事前調査項目をお選びください。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 地形図（資料調査）
- 土地条件図（資料調査）
- 微地形区分（資料調査）
- 治水地形分類図（資料調査）
- 表層地質図（資料調査）
- 液状化マップ（資料調査）
- 近隣SWS試験データ
- 近隣ボーリングデータ
- 現地踏査
- その他: _____

13. 採用したことのある地盤調査方法をお選びください。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- SWS試験
- 標準貫入試験
- 三成分コーン貫入試験
- 動的コーン貫入試験
- 表面波探査
- 常時微動
- 平板載荷試験
- その他: _____

14. SWS試験以外を追加調査として採用する頻度についてお答えください。*

1つだけマークしてください。

- 0%
- 0～10%
- 10～30%
- 30～50%
- 50～80%
- 80～100%
- 不明

15. SWS試験以外を採用する理由は何ですか。(SWS試験と比較して) <複数選択可> *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 精度が良い
- 貫入能力が高い
- 土質がわかる
- 杭の支持層を把握する
- 費用が安い
- 強度を平面的に測定する
- 作業が楽
- その他: _____

16. 一件当たりの地盤調査費用(土質試験費用含む)はおよそいくらですか。 *

1つだけマークしてください。

- 1~3万円
- 3~5万円
- 5~10万円
- 10~20万円
- 20万円以上
- 不明

17. 使用しているSWS試験のタイプは主に何ですか。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 全自動式 (荷重制御自動)
- 半自動 (回転自動)
- 手動式

18. 全自動式のキャリブレーションの頻度をお答え下さい。 *

1つだけマークしてください。

- 調査毎
- 月一回程度
- 半年に一回程度
- 年一回程度
- 2年に一回程度
- してない
- キャリブレーションフリー
- 知らない
- 全自動式を採用していない
- その他: _____

19. スクリューポイントを交換する目安をお選びください。 *

1つだけマークしてください。

- 最大径Φ32mm以下
- 最大径Φ31mm以下
- 最大径Φ30mm以下
- 不明
- その他: _____

20. 小口径鋼管杭の支持層の確認方法をお選びください。 *

1つだけマークしてください。

- SWS試験時の空転もしくは貫入不能
- SWS試験時の打撃による打撃回数または打撃時間で判断
- SWS試験以外の別の調査方法
- その他: _____

21. SWS試験の一現場当たりの地盤調査人数は何名ですか。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1人
- 2人
- 3人以上

22. 一日の平均的な調査件数はどの程度ですか。（ただし、同一分譲地は含まない） *

1つだけマークしてください。

- 1件
- 2件
- 3件
- 4件以上

23. 地盤調査時に設計者もしくは関係者が立ち会いますか。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- ビルダールの設計者
- 住宅建築関係者
- 物件ごとに異なる

24. SWS試験時に実施する土のサンプリングの実施数はどの程度ですか。 *

1つだけマークしてください。

- 全数実施
- 一部実施
- 実施していない

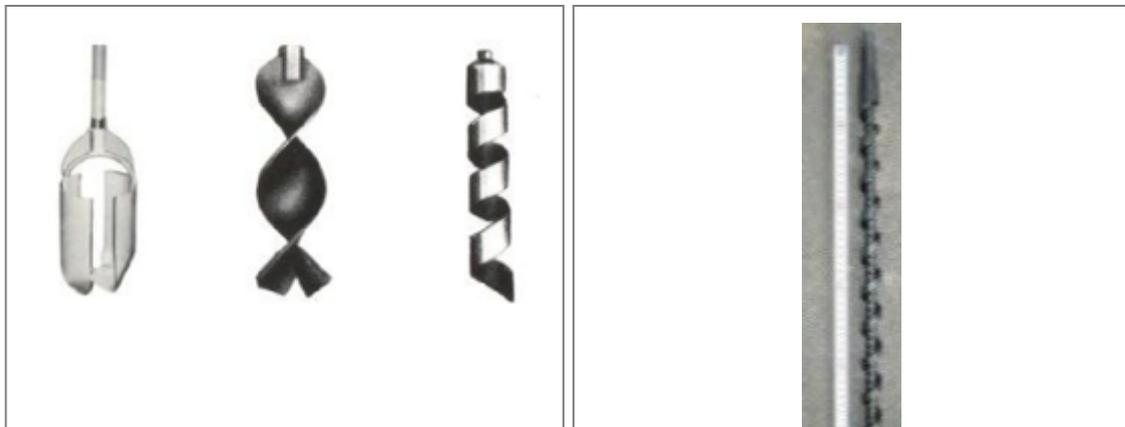
25. SWS試験時に実施する土のサンプリングの深度はどの程度ですか。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1m毎に3mまで
- 1m毎に5mまで
- 1m毎に10mまで
- 軟弱層一ヶ所
- 軟弱層と支持層一ヶ所
- N値の状況・推定土質(近隣ボーリングにて判断)
- SWS試験結果で判断
- 実施していない
- その他: _____

26. 土のサンプリング方法をお選びください。〈複数選択可〉

当てはまるものをすべて選択してください。



- ハンドオーガー
- ドリル式



- 開閉貫入式
- その他: _____

27. 粒度試験の実施頻度をお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 80%以上～100%
- 60%以上～80%未満
- 40%以上～60%未満
- 20%以上～40%未満
- 20%未満～0%
- 不明

28. SWS試験時に採取した土で含水比測定の測定は実施していますか。*

1つだけマークしてください。

- 測定している
- 測定していない
- 不明

29. 地下水位の測定は実施していますか。*

1つだけマークしてください。

- 全数実施
- 一部実施
- 実施していない
- その他: _____

30. 地下水位測定方法をお選びください。<複数選択可>*

当てはまるものをすべて選択してください。

- メジャー
- 測定棒
- 圧力式
- 通電式
- 交流式比抵抗
- 実施していない
- その他: _____

地盤評価について

31. SWS試験の支持力算定方法をお選びください。（長期許容応力度の算出方法）*

1つだけマークしてください。

- 告示式(1)テルツァーギ
- 告示式(3) $30 + 0.6N_{sw}$
- 学会推奨式
- 不明
- その他: _____

32. SWS試験以外で支持力計算を行う試験方法をお選びください。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 標準貫入試験
- 三成分コーン貫入試験
- 動的コーン貫入試験
- 表面波探査
- 平板載荷試験
- 該当なし
- その他: _____

33. 沈下検討について実施しているものをお選びください。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 全数検討
- 自沈層がある場合（直接基礎・地盤補強）
- 自沈層がある場合（直接基礎のみ）
- 実施しない

34. 沈下の検討は自社で実施もしくは他社に依頼していますか。*

1つだけマークしてください。

- 自社
- 地盤調査会社や地盤補強会社
- 保証会社
- 特に検討していない
- その他: _____

35. 地盤変形（沈下）について検討している対象をお選びください。＜複数選択可＞*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 即時沈下（砂地盤などで生じる載荷とほぼ同時に生じる沈下）
- 圧密沈下（載荷によって軟弱粘性土地盤などから排水されることによる長期間にわたる沈下）
- 収縮沈下（擁壁背面土や盛土が降雨などの作用により生じる沈下）
- 不明
- その他: _____

36. 主な沈下の検討方法をお選びください。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- Cc法
- mv法
- e-logP法
- 経験的所見（地歴・造成状況）
- 不明
- その他: _____

37. 沈下を検討するときの圧密層はどれを対象としていますか。*

1つだけマークしてください。

- 調査深度全て
- 深度5mの全て
- 深度5m以浅の自沈層
- 調査深度内の自沈層
- 不明
- その他: _____

38. Cc法で沈下量を求める場合の算定方法をお選びください。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 圧密試験
- 液性限界から換算
- 自然含水比から換算
- 実施していない
- その他: _____

39. mv法で沈下量を求める場合の算定方法をお選びください。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 自然含水比から換算
- 土質試験の粘着力cから換算
- SWS試験結果（Wsw、Nsw）から換算した粘着力cを使用
- 実施していない
- その他: _____

40. 沈下量を求める際の荷重はどのように設定しますか。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 建物荷重のみ
- 建物荷重+盛土荷重
- 実施していない
- その他: _____

41. 地盤補強工法について、地盤補強件数に対する実績割合をお選びください。（直近1年間の実績）
 <全てに記入してください> *

1行につき1つだけマークしてください。

	実績なし	~20%	~40%	~60%	~80%	~100%	不明
表層改良	<input type="radio"/>						
柱状改良	<input type="radio"/>						
小口径鋼管杭	<input type="radio"/>						
木杭	<input type="radio"/>						
コンクリートパイル	<input type="radio"/>						
その中で、工法独自の基準で運用している工法の割合(性能証明取得工法等)	<input type="radio"/>						

42. 平面地盤補強（表層改良）の厚みを決める方法をお選びください。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 支持層
- 二層地盤
- 液状化
- 圧密沈下
- 不明

液状化について

43. 液状化判定を行っていますか。 <複数選択可> *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 全ての物件
- 要望があった物件
- 行政から指摘された場合
- 不明
- その他: _____

44. 液状化の判定結果は依頼者に伝えますか。 *

1つだけマークしてください。

- 必ず伝える
- 要望があれば
- 伝えない
- 実施していない

45. 液状化判定の方法をお選びください。＜複数選択可＞ *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 資料調査のみ（微地形区分など）
- H1－H2法
- FL法
- PL法
- Dcy
- H1－Dcy法
- 液状化マップ
- 不明
- その他: _____

46. 液状化判定はどの深度までを対象にしていますか。 *

1つだけマークしてください。

- 5m
- 10m
- 20m
- 実施していない
- その他: _____

47. 液状化判定に用いる地表面設計用地震動の大きさをお選びください。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 150gal
- 200gal
- 350gal
- 実施していない
- その他: _____

48. 液状化の可能性が高い場合に対策を提案しますか。 *

1つだけマークしてください。

- 提案する
- 施主の様子により判断
- 提案しない
- 不明
- その他: _____

49. 液状化対策として採用したことがある工法をお選びください。＜複数選択可＞ *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 支持杭
- 柱状改良（液状化層以深までの杭形式）
- 柱状改良（液状化層以浅までの杭形式）
- 表層改良
- 柱状改良連壁
- 砕石工法
- 置換工法
- 不明
- その他: _____

50. 過去1年間で液状化対策採用数は何件程度でしょうか。 *

1つだけマークしてください。

- 100件以上
- 50件以上100件未満
- 10件以上50件未満
- 10件未満
- 不明

既存擁壁について

51. 建築予定地に擁壁がある場合、不適格擁壁として扱う判断基準をお選びください。＜複数選択可＞ *

当てはまるものをすべて選択してください。

- 全て不適格擁壁として扱う
- 宅造・工作物申請済みは適格擁壁として扱う[既存擁壁異常あり]
- 宅造・工作物申請済みは適格擁壁として扱う[既存擁壁異常なし]
- 構造計算書などの資料で判断[既存擁壁異常あり]
- 構造計算書などの資料で判断[既存擁壁異常なし]
- 目視による不具合の有無だけで判断
- 申請・計算書・異常の有無をすべて確認して判断
- 不明
- その他: _____

52. 既存擁壁が建築地に存在している場合、既存擁壁の資料(設計図書・構造計算書等)の入手可能なケースの頻度をお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 80%以上～100%
- 60%以上～80%未満
- 40%以上～60%未満
- 20%以上～40%未満
- 20%未満～0%
- 不明

53. 安息角を確保するための対策方法をお選びください。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 擁壁と建物との離隔距離確保
- 深基礎
- 地盤補強(小口径鋼管杭以外)
- 小口径鋼管杭
- 杭基礎
- 不明
- その他: _____

基礎に関する苦情・障害について

54. 基礎に関する苦情や障害を受けたことはありますか。*

1つだけマークしてください。

- ある
- ない
- 不明

55. 今まで経験した障害の多い項目についてお選びください。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 基礎クラック
- 基礎ジャンカ
- 沈下障害
- アンカーボルトの施工位置
- かぶり厚さ
- 鉄筋さび
- 地盤の転圧不足
- 基礎天端不陸
- 不明
- その他: _____

56. 不同沈下と定義する傾斜角の値をお選びください。*

1つだけマークしてください。

- 3/1000以上
- 4/1000以上
- 5/1000以上
- 6/1000以上
- 不明
- その他: _____

57. 不同沈下と思われる原因について、多いと思われる原因をお選びください。〈複数選択可〉*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 軟弱地盤
- 建物荷重の偏り
- 擁壁等の変位
- 埋戻し不良
- 設計不良
- 地盤補強の施工不良
- 盛土荷重
- 盛土施工不良
- 切盛造成
- 掘削工事
- 近接工事（盛土・建物など）
- 不明
- その他: _____

58. 地盤保険・保証などを利用していますか。*

1つだけマークしてください。

- している
- していない
- 不明

59. 地盤保険・保証などを利用している場合、保険などが適用できなかったことはありますか。*

1つだけマークしてください。

- ある
- ない
- 不明

本指針自体について

60. 本指針を持っていますか。*

1つだけマークしてください。

- 持っている
- 持っていない

61. 本指針を活用している場合の活用事項をお選びください。*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 支持力計算
- 基礎設計
- 沈下量検討
- 液状化検討
- 地盤補強計算
- 不具合対応
- 活用していない
- その他: _____

62. 改訂版に反映して欲しい事項はありますか。*

1つだけマークしてください。

- ある（ある場合はその他の欄に具体的な内容を記入願います）
- ない
- その他: _____

Powered by

